



# エミールだより

# 10月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

## 「クラス移行について」

さわやかな秋晴れのもと、楽しく運動会を行なう事ができました。いつもと変わらぬ子どもたちの元気な姿でしたが、そのなかに、自分の身体を思いどおりに動かせるようになったという満足感が、ひしひしと伝わってきました。

誕生祝い、また、入園いらいの毎日の積み重ねの結果が、グラウンドにあふれ出ているという感じです。運動会をひとつの節目として、まだまだ、子どもたちは自分の動きに磨きをかけていってほしい。何とも楽しみです。

ところで、本園では年度途中で子どものクラスを移動させる「移行」を始めてから、永い間がたちました。今回は、その理由や効果について述べてみましょう。

私たちの役割は、「子どもに最善の環境を準備すること」ですが、1年間固定してしまっているのはそれができません。なぜなら0歳の子もどんどん成長していき、そろそろ2歳に近づく子もいますし、1・2歳児のクラスでも4歳近くになっていきます。

ところがクラス面積とその他の事情から、その子の成長に応じた最適の環境を整えてやるのは難しいものです。これを解決するには、その子どもが新しい環境を求めて移動するのが最適なことと言えます。

- ① 上の年齢の新しいクラスになれば、その子の敏感期を満足させてくれる、様々な教具・教材が準備されています。また環境に連続的発展性がありますので、子どもの知性のはたらきを退屈させず、順調に伸ばしていくこともできます。
- ② 毎日いっしょに生活する友だちの年齢の幅が広がりますので、より豊かな社会性を身につけていくトレーニングの場になります。時には一番若い年齢・月齢ゆえにいやな思いをすることもあっていいでしょう。それもひとつの経験であり、必ず乗り越えることができます。
- ③ 身近に「モデル」や「先生」がいっぱいおり、何でもやさしく教えてくれます。幼児教育は「やってみせる・見て学ぶ」が基本ですが、その場面はクラスいたるところで見ることができます。
- ④ これは全く別の見方ですが、移行していったあとのクラスに、新しい友だちが入園することができます。入園が必要な家庭の要望に応えていくのも、私たち保育園のひとつの役割です。

こんなに良いことづくめのクラス移行ですが、そのためには移行していく子どもの気持ちや状態を、十分に理解しておく必要があります。また、ご家庭からのご意見も考慮にいれながら、これからも進めていきたいと考えています。 園長より

## 保育参観のおしらせ

今年第1回目の保育参観です。クラス参観のあとは、大原青子副園長による講話があります。ぜひご参加ください。また、講話のあとに4歳児のリズム劇「くえうみわり人形」と5歳児の「合奏」の発表を行ないます。くわしいご案内とお申込み用紙は後日配布します。

日時：10月26日(土)

日程：9:00~10:00 保育参観

10:10~11:20 講話 副園長 大原 青子先生

テーマ 「子どものやる気をそだてるために」

11:30~12:10 音楽発表会(4・5歳児の保護者対象)

会場：各クラス・2階ホール



## 10月の行事予定

1	火	のぼらコンサート
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	体育の日
15	火	
16	水	ふわふわルーム
17	木	園外散歩 ペアルックくらす
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	10月誕生会
22	火	避難消火訓練
23	水	
24	木	秋の遠足
25	金	
26	土	保育参観
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

### <幼児特別指導>

体育教室 5歳児

4・11・18・25日(金)

絵画教室 4歳児 10日(木)